

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCM107A	TCM_文書理解 I_A	
科目名（コード）	TCM107	TCM_文書理解 I_A	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	4単位60
授業担当者	劉琦	時間数	
成績評価教員	劉琦	講義期間	春期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。		講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	医療従事者として現場で即戦力となる確かな知識と技術を持ち、異文化に対する理解と医療の倫理観を備え、通訳者としての適切な言語運用力とコミュニケーション力を身につけた人材にな
全体の内容と概要	前期では主に4段階に分けて初歩的な訓練を行う。（1）発音の訓練8時間。朗読のレベル：中国語北京語は準アフリカー、日本語標準語は流暢で訛りがほぼない。（2）ヒヤリングの訓練8時間。練習問題を1回聞いて50%、2回聞いて80%ぐらい理解できる。（3）記憶の訓練8時間。日本語10秒前後の内容は1度聞いて80%、20秒前後の内容は2度聞いて
授業時間外の学修	毎日必ず日本語のニュースを聞く。
履修上の注意事項等	通訳の文字資料および音声や動画資料を配布する場合は必ず予習しておくこと。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	朗読の訓練：正確な発音、流暢さ、適切な音量、大勢の前で落ち着いた態度	中国語の朗読：正確な北京語の発音および日本語の朗読：正確な標準語の発音
2	朗読の訓練：正確な発音、流暢さ、適切な音量、大勢の前で落ち着いた態度	日本語の朗読：正確な標準語の発音
3	記憶の訓練：10秒前後の内容は1度聞いて70%、20秒前後の内	中国語の練習問題および日本語の練習問題、音声の書取
4	記憶の訓練：10秒前後の内容は1度聞いて70%、20秒前後の内	日本語の練習問題、音声の書取
5	ヒヤリングの訓練：練習問題を1回聞いて50%、2回聞いて	N2やN1あるいは留学生試験のリスニング問題
6	ヒヤリングの訓練：練習問題を1回聞いて50%、2回聞いて	N2やN1あるいは留学生試験のリスニング問題
7	幅広い日常会話の通訳ができる。	日常会話を耳で聞いて通訳する。
8	幅広い日常会話の通訳ができる。	日常会話を耳で聞いて通訳する。
9	幅広い日常会話の通訳ができる。	日常会話を耳で聞いて通訳する。
10	活字資料を朗読、通訳できる。	厚生労働省の医療通訳練習問題を朗読して通訳する
11	活字資料を朗読、通訳できる。	厚生労働省の医療通訳練習問題を朗読して通訳する
12	活字資料を朗読、通訳できる。	厚生労働省の医療通訳練習問題を朗読して通訳する
13	活字資料を朗読、通訳できる。	厚生労働省の医療通訳練習問題を朗読して通訳する
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

4. 本授業科目の授業計画													
回	到達目標	教科書	医学知識	文法	発音、読み	場面の理解	ノウハウと練習	評価	聞き	一言	注意事項		
1 4. 1 7	ガイダンス ●漢字の変換原則理解 ●発音の原則を理解。自己訂正できるように		通訳の役割。通訳は黒子である。	日中漢字の読み方原則、音から漢字を想像する	モーラとは	なし	・N1, 2の聴解テストの概要 ・得点を取るためのポイント	なし	長音と単音の	桜について	漢字変換ppt	1, ガイダンス今後の授業内容と評価注意点	
2 4. 24	●感情が言語よりも大切であることを認識。 感覚で相手のニーズを理解し、対応すること	日本	検査の名前、検査	日中漢字の読み方原則、音か	促音	日本の習慣。会社組織と役割。	●上司のニーズはなに？ ●メモのとり方	会社	会社の場	生の読み方熟語、クイズ、 ●同音語	・アンケート・漢字変換pp	●聴解メモのとり方ppt	
3	休み												
6 5. 2 2	課題の提出		①ビリビリにアップロードした即時応答の動画を5つ選んで1つにつき、3回以上シャドウイングする その感想を文にして提出					②即時応答の問題を10個実施		なし	・即時応答の動画	即時対応；即時対応に慣れる；動画を観て、シャドウイングすること	
5 5. 1 5	敬語表現の習得、			敬語の変換練習 もらうういだ		命令形；くれる、くれない、もらえ、もらえない	①敬語から上下関係を理解。上司の話しかから命令のスタイルを理解	上司の場面	会社の場面20	敬語での失敗体験	・敬語のppt、 ・敬語部分の即時応	聴解問題の中の敬語が出てくる場面	
7 5. 29	メモのとり方をマスターする			医療通訳のメモのとり方	母音の変換、聞いた音から漢字を連想する練習	店屋 日本の特徴、 日本語習慣	時間の推移を理解する ・時間副詞に	自身	何をしますか	相手に要求しているのにかつてもらえない経験	・メモのとり方ppt	・敬語部分の即時応	
	アンケートの提出		①アンケートをもう一度何もみないで完成させる。 ② N1, 2の擬音語、擬態語のpptを見て練習する								アンケート		
8 6. 5	日常用語の使い方 ●擬態語			日常用語の使い方 ●擬態語		日本の習慣●ゴミ出し ●アパート、集団生活の規則 ●お掃除当番表●市町村	にはんの習慣を理解して、日本で生活をスムーズにすることがテストの目的である	ゴミ出し関係の会話	●ゴミ出し●パンコン廃棄物の分別	日本のゴミ出しについて	・日本の習慣ppt	即時対応	
9 6. 12	●こそあどの反応を加速させ、作文で使えるようにする		どこが痛い、痛いところを表現する	●て、を、のの違いを理解 ●擬態語、擬声語		●アンケート●大学、レポート	仕事の順序の仕方を理解しながら、	アンケート関係の聴解文を聞き		一番痛かった事	・コフレア下解説ppt ・アンケート、大学の場面		
10 6. 19	スキミング；小さな事にとらわれず、感情と視覚化から要点を把握する。要点の小フレーズが頭に呼応できるようにする			スキミング ●擬態語	感情を表す詞、語気から推測する	長い話の要点を理解する	①スキミングを聞き、速さで②知らない単語に集中しない③わかることから主旨を想像する④場面	スキミングの問題を練習		記憶について	・聴解長文問題	スキミング	
11 6. 26	スキミング、相手のニーズやテストの要求に的を絞って、メモをとっていく 感情表現から相手のニーズを理解よく出る表現、単語、等を動画で練習			スキミング 終助詞の感情表現 ●擬態語	感情を感じながら、①けど、②が、③でも等の接続助詞に敏感になる	動画のシャドウイング	そんな問題を想定して、話を聞く②どんな質問が来るか慣れておく	スキミングの問題を練習	問題5の練習	日本語の、でも、中国語のでも	・聴解長文問題		
	テストと同じ条件で練習			よく出る表現、擬態語のクイズ式特訓		なし	●模擬テストを2回実施 ●総合練習J1ptテスト練習。 N1に出題させる表	動画を観た後、会話をべ	①1回	テストの思い出、失敗体験、成功対戦	の動画 ②模擬テスト音声		
12 7. 3	医療通訳の実践的な対処を習得する		5-6医療通訳者の文化仲介	テストでできなかったところの解説、練習	促音、長音ミニマル・ペア	NLPコミュニケーション；ミラーリング、キャツリレーション、ペーシング、パッドラッキング	●通訳で困ったら、●文化の違い法海と対処●差別的、攻撃的な発言について	わからない詞、カタカナ用語の調べ方	●カタカナ用語の調べ方	テストの感想、	カタカナ用語を準備する、薬、病名		
13 7. 10	自分の弱点を理解 弱点補強		医療用語クイズ、部位や病名、	同義語、組み合わせのよくある間違い	間違えやすい読み方、テキストを読む	●要求に従わない患者への説得	●要求に従わない患者への練習	医療会話を聞き取り		お盆、日本の夏	体の部位クイズppt、		
14 7. 17	前期テスト		●聴解テスト ●ペーパーテスト；自他動詞、助詞、形容詞の変化、動詞の活用、仮定形、敬語、患者の質問に、医師が答える内容										
15 7. 24	追試		・弱点克服のための相談、受付、様々な学習法と、自身の性格や特性に合わせて向き不向きを判別。 ・心理学と日本語学習を合わせた記憶方法の紹介										
15	追試・フィードバック		Feedback										

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	「医療通訳」一般財団法人 日本医療教育財団 著（厚生労働省配布） その他適宜配布
備考	練習問題（活字、音声、映像など）を配布する 水曜日2限 ・本講師は、企業・公的機関や大学等の高等教育機関にて、指導を歴任している。本校での実務者教員である。